

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業振興部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡春まつり事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象	市民及び観光客に
手段	蒲郡春まつりを開催することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
収入金額	3,500,000円	3,500,000円	3,000,000円
支出金額	3,253,099円	2,984,747円	3,828,394円
参観者	3,000人	10,000人	5,000人
参加者	110人	130人	200人

成果指標

成果指標名	参観率	参加者一人当たりの経費
成果指標の説明	(参加者 + 参観者)/人口	支出済額/参加者

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			6.3%
	実績	3.8%	12.3%	
成果指標	計画			19,141円
	実績	29,573円	22,959円	
事業費	事業費	3,500	3,500	3,000
	人件費	2,507	2,478	2,526
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	6,007	5,978	5,526
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,007	5,978	5,526

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	三河地方だけに伝承されている手筒花火を使い、観光振興、誘致を行うという目的はほぼ達成されており、市内4観光地域のうち既に3地域で実施された。
経済効率性	2	2	負担金減だが、参観者は年々増加しており、大型の花火が少ないので、費用対効果は大きい。もともと奉納花火なので、打上者などの費用負担は難しい。
事務効率性	2	1	市職員がほとんどの事務を執行しており、人員にみあった成果をあげている。
必要性	2	2	観光地区からの要望が非常に強い事業である。民間が実施する実施する事業ではないが、公共的機関(商工会議所など)でも実施が可能か検討が必要である。
小計	8 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	事業の計画段階で市民参加がなされているが、市が主体となって実施している
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	
総合評価	B	B	年々参加者、参観者も増えているが、全市的なイベントとはなっていない。時限で実施する事業だが、市内の各地区を全地区開催して地域の活性化と観光客誘致に対する効果を見極める必要があると思われる。

これまでに実施した改善点

ふれあい広場、ふれあい動物園、写生大会などは、他のイベントと重なる部分があったため、事業を手筒花火に集約し、事業の効率化をはかった。

今後改善すべき点

各地域を一巡する必要があるか、今後も実施していく必要があるか、また手筒花火大会のみでなく、他のイベントと集約できないか検討が必要である。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	遠望峰山公園施設管理事業		
根拠法令等	遠望峰山公園施設管理委託契約	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象	市民及び観光客に
手段	遠望峰山公園施設を提供し、維持管理することにより
想定する成果	地域の観光振興をはかる

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
県管理委託料	1,113,000円	1,113,000円	1,113,000円
維持管理費	1,137,688円	1,164,863円	1,113,000円
三河湾スカイライン利用者数	186,560人	146,390人	

成果指標

成果指標名	委託料充足率	三河湾スカイライン利用者数
成果指標の説明	県管理委託料/維持管理費 × 100	三河湾スカイライン利用者数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	97.8%	95.5%	
成果指標	計画			
	実績	186,560人	146,390人	
事業費	事業費	1,138	1,165	1,113
	人件費	835	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,973	1,991	1,955
財源内訳	国			
	県	997	997	997
	市債			
	その他			
	一般財源	976	994	958

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	1	1	臨時の修繕費などが発生したため、県からの管理委託金だけでは、維持管理費が賅えない。
経済効率性	2	1	現地に精通しているとぼね観光開発㈱に清掃業務を委託することにより、コスト低減をはかっている。
事務効率性	2	2	管理委託することにより、職員の事務量は少なくなっている。
必要性	1	1	スカイライン沿線にトイレがないこと、自然環境が良好な観光施設であること等を考慮すれば、すぐに廃止する状況にない。
小計	6 / 12 満点中	5 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	いつでも、誰でもが利用できる施設であるが、特に積極的に市民からの意見を聴取していない。
合計	7 / 15 満点中	6 / 15 満点中	
総合評価	C	C	人工スキー場、アスレチックの取り壊し後は利用者も激減し、周辺に誘客施設がない現状では、今後も利用者増は見込めない。

これまでに実施した改善点

愛知県からの移管受け入れの聴き取りに対し、現在県から市に支払われている園地の維持管理費に加え、建物の修繕料を負担していくことは難しいため、引き続き県の所管を依頼した。

今後改善すべき点

新たな誘客は期待できないため、今後は自然環境保持に重点をおいた管理も必要とされる

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	マルチメディアパイロットタウン事業				
根拠法令等	通信・放送研究成果展開事業に対する協力について(覚書)		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象	市民及び蒲郡市に訪れる観光客に
手段	携帯端末を貸し出し、観光に利用してもらう実証実験を行うことによって
想定する成果	マルチメディアの観光への応用を研究する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
通信運搬費	1,313,499円	1,293,600円	201,600円
端末貸出台数	164台	58台	
観光協会等貸出数	138台	51台	
宿泊施設貸出数	26台	7台	

成果指標

成果指標名	観光協会等貸出率	宿泊施設貸出率
成果指標の説明	観光協会等貸出数/端末貸出台数×100	宿泊施設貸出数/端末貸出台数×100

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			
	実績	84.1%	87.9%	
成果指標	計画			
	実績	15.9%	12.1%	
事業費	事業費	1,313	1,293	0
	人件費	8,358	8,263	8,422
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	9,671	9,556	8,422
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,671	9,556	8,422

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	2	14年度までの実験事業であるため、観光とマルチメディアを融合させた観光情報サービスの実証実験は成果があった。
経済効率性	2	2	ほとんど全額が国の補助で行われたため、費用対効果は大きい。
事務効率性	2	2	名古屋市内の大学生がモニター等になり、検証がすすめられたりしており、職員の執行した事務が効率化された。
必要性	3	3	高度情報化がすすむなかで、マルチメディアを活用したモバイル観光等の実験事業は、今後の観光振興にとって必要なものである。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	1	実践事業であり、観光客の利用は少なかった。
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	
総合評価	B	B	GPSや携帯端末での情報収集は、携帯電話などで現在は一般化されているが、このような実証実験が基礎となっており、事業実施の効果は大きい。

これまでに実施した改善点

常に最新情報を提供するため、観光情報の更新を行った。また利用者のニーズが高くなかったリアルタイム情報の表示を廃止し、通信経費の大幅削減を行った。

今後改善すべき点

実証実験事業は、国の補助事業のため平成14年度で終了した

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業振興部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード	事務事業名	エリカ号保存・エリカカップヨットレース運営補助事業				
根拠法令等	蒲都市補助金等交付規則	A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象	エリカ号保存会及びエリカカップ実行委員会に対して
手段	エリカ号保存・エリカカップヨットレースの運営補助金を交付することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
保存会補助金額	1,473,000円	1,473,000円	1,000,000円
決算額	4,920,635円	6,865,820円	6,000,000円
参観者	1,000人	2,000人	3,500人
参加者	520人	500人	650人

成果指標

成果指標名	参加者率	補助率
成果指標の説明	$(参加者 + 参観者) / 人口 \times 100$	$補助金額 / 決算額 \times 100$

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			5.1%
	実績	1.9%	3.0%	
成果指標	計画			16.7%
	実績	30.0%	21.5%	
事業費	事業費	1,473	1,473	1,000
	人件費	1,671	1,652	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,144	3,125	2,684
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,144	3,125	2,684

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	エリカ号の保存は適正に行われている。レース自体の規模及び知名度も国内最大級のヨットレースに成長した。
経済効率性	2	2	財源や組織は安定しており、補助金の効果は、低くなってきている。
事務効率性	2	2	市職員が携わる事務は当初より徐々に減少してきている。
必要性	2	3	民間組織でも、可能だが、全国級の観光資源として市のかかわりが持つべきである。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	企画計画段階から、市民参加がなされており、海の関係者からの要望度、満足度は高いものとなっている。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	
総合評価	B	B	市民にもすっかり認知され、ヨットレースでは国内最大級のイベントにあり、良い意味での成熟期に入っている。実行委員会組織はしっかりしており、今後は、市の関与を現在よりも少なくしても、事業実施ができると思われる。

これまでに実施した改善点

実行委員会組織が安定してきたことにより、市職員の行ってきた事務を徐々に組織に移していったことにより、職員の事務の軽減をはかった。

今後改善すべき点

国内最大級のヨットレースとなった現在、観光蒲郡のイベントとしてPR、観光宣伝を行うとともに、事務の簡素化をはかるためエリカカップ保存会とエリカカップ実行委員会を統合していく必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業振興部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	いかだレース補助事業				
根拠法令等	蒲都市補助金等交付規則		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象	いかだレース実行委員会に対して
手段	いかだレースに係る経費を補助することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
補助金額	1,900,000円	1,900,000円	2,700,000円
決算額	3,583,039円	3,317,140円	4,700,000円
参観者	1,000人	2,000人	3,500人
参加者	520人	500人	650人

成果指標

成果指標名	総参加率	補助率
成果指標の説明	$(参加者 + 参観者) / 人口 \times 100$	$補助金額 / 決算額 \times 100$

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			5.1%
	実績	1.9%	3.0%	
成果指標	計画			57.4%
	実績	53.0%	57.3%	
事業費	事業費	1,900	1,900	1,700
	人件費	2,507	2,478	2,526
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	4,407	4,378	4,226
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,407	4,378	4,226

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	2	海のまち「がまごおり」を観光宣伝するという当初の目的は達成されている。今後は地球環境、三河湾浄化の取組を進める
経済効率性	3	2	企業などの寄付や、ボランティア実行委員などにより、費用低減を実現、適正な参加費で受益者負担を実践している
事務効率性	2	1	企画、運営は実行委員会で行い、書類作成などは事務局が行っている
必要性	2	2	市が直接実施する事業ではないが、海の観光振興に効果をあげている重要な事業であるため、現在の形態で行うべきである
小計	10 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	実行委員会組織は、特に制限をもうけていないため、気軽に参加でき、計画段階から企画などに柔軟性がもてる
合計	13 / 15 満点中	10 / 15 満点中	
総合評価	B	B	年々規模を拡大するとともに、市民にもすっかり認知されたイベントになってきており、良い意味での成熟期に入っている。実行委員会組織はしっかりしており、今後は、市の関与を現在よりも少なくしても、事業実施ができると思われる

これまでに実施した改善点

第4回大会から愛知万博における「愛・地球博地域連携プロジェクト事業」として実施され、使用後の竹の炭へのリサイクルや環境にやさしい素材の使用等を行うようにした。

今後改善すべき点

広くマスコミなどの広報活動を行い、引き続き海のまち「がまごおり」のPR、観光宣伝を行うとともに、広く一般に認知されたイベントとして、参加者だけでなく、市民もより楽しめるように大会の内容をさらに充実していく必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業振興部	商工観光課	内線等	1215
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	入湯税関連補助事業		
根拠法令等	蒲都市泉源維持管理報奨金制度要綱	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	観光
------------------	----

事務事業の内容

対象	旅館組合及び泉源組合に対して
手段	温泉管理施設の維持管理に係る経費の一部を報奨金として補助することにより
想定する成果	地域の観光振興を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
入湯税額	95,325,450円	106,450,950円	110,000,000円
補助金額	42,969,000円	48,429,000円	50,000,000円
入湯税課税施設	17施設	18施設	19施設

成果指標

成果指標名	補助率	1施設当たりの補助金額
成果指標の説明	補助金額/入湯税額×100	補助金額/補助対象者数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			45.5%
	実績	45.1%	45.5%	
成果指標	計画			5,789,473円
	実績	5,607,379円	5,913,941円	
事業費	事業費	42,969	48,428	53,334
	人件費	2,507	2,478	2,526
	(人数)	0,3	0,3	0,3
	合計	45,476	50,906	55,860
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	45,476	50,906	55,860

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	2	温泉導入旅館・ホテルは年々増加し、蒲郡市の温泉郷のイメージアップに貢献している
経済効率性	2	2	報奨金は、温泉施設の維持管理費用に役立っている。
事務効率性	2	2	報奨金支給事務は、市職員が直接事務を執行する事務である。
必要性	2	2	入湯税収入を観光振興に使う目的にそって支出されているもので、効果をあげている。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	長期債務をかかえるホテル・旅館業界からは要望が非常に強い制度である。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	
総合評価	B	B	消費者ニーズに対応するため温泉掘削を行った組合は長期債務を抱えており、安定的な旅館経営のため、早期に長期債務を返済する必要がある。入湯税は目的税であるため、観光振興、施設整備等に用途が定められており、報奨金制度は有効である。

これまでに実施した改善点

旅館・ホテルの安定経営のため、報奨金の支払を2回に分割して支払うようにした。

今後改善すべき点

ホテル・旅館業界を取り巻く環境は大変厳しくなっており、旅館の安定経営、宣伝及びイベント活動、ユニバーサルデザインへの対応のため、今後も入湯税報償制度の継続が必要である。

平成16年度予算に反映する項目

上記に沿って、入湯税報奨金制度を延長するため、従来どおりの予算見積額としたい。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	消費生活啓発等事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け
基本目標

その他	施策名 その他
-----	------------

事務事業の内容

対象	一般消費者に対して
手段	各種啓発事業を行うことによって
想定する成果	安心できる消費生活に資する

事業の概要

(円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
消費生活展委託料	240,000	99,534	200,000
一斉量目検査経費	年2回 22,030	年2回 17,860	年2回 30,000
各種団体補助	3団体 106,841	3団体 106,659	3団体 108,000

成果指標

成果指標名	消費生活展入場者数
成果指標の説明	消費生活展入場者数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	747人	636人	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	369	224	308
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1人	0.1人	0.1人
	合計	1,205	1,050	1,150
財源内訳	国			
	県	83	0	0
	市債			
	その他			
	一般財源	1,122	1,050	1,150

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	1	消費生活展等で啓蒙しているが、まだまだ市民への啓蒙が浸透していない。
経済効率性	2	2	
事務効率性	2	2	
必要性	3	2	「悪質商法」等に引っかからないよう啓蒙することは必要なことと考えます。
小計	9 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	消費生活展等で啓蒙するなど市民参加の行事は開催している。
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

--

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・市役所に消費生活相談員を配置できるよう県からの要望はあるが、専門的な知識の取得、人的配置が難しいためできない状況である。 ・15年度の消費生活展は「がまごおりまつり」と同時に開催したい。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	ベンチャーファクトリー支援事業		
根拠法令等	蒲都市ベンチャーファクトリー支援要綱	A 法令	B 条例	C 規則	D その他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業
------------------	----

事務事業の内容

対象	市内に居住し、事業所を有する個人、法人、組合、新規創業者に対して
手段	私有地の斡旋、技術研究費用の補助、公的制度融資に対する補助等を実施することによって
想定する成果	創造的企業・事業の育成により、地域振興を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
支援関係補助金	1件 682,000	0	2,250,000
支援利子補給補助金	0	0	450,000
総事業費	1,516,115	0	-
事業内容	エアージェット用リード（箆）のリサイクルシステムの確立		

成果指標

成果指標名	補助率
成果指標の説明	補助金額 / 総事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	45.0%	-	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	682	0	2,700
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1人	0.1人	0.1人
	合計	1,518	826	3,542
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,518	826	3,542

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	2	制度利用の相談はあったが、支援実績はなかった。
経済効率性	1	1	
事務効率性	2	1	
必要性	3	3	地場産業の低迷が長引いている中、少しでも地域振興を図るためには、創造的企業、事業の育成が不可欠である。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

新たな事業分野開拓のため設けた期間限定の補助事業である。
（期間は平成10年11月10日～平成16年3月31日）

今後改善すべき点

- ・認定基準が厳しく、申請書類が複雑との声もあり、認定基準及び申請書等の簡素化が必要である。
- ・15年度までの期間限定であるが、地域振興を図るため延長を検討している。

平成16年度予算に反映する項目

事業延長のため、所要の予算要求をしたい。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	緊急雇用創出特別基金事業とりまとめ事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまつづくり	雇用
------------------	----

事務事業の内容

対象	各課で実施している緊急地域雇用創出特別基金事業について
手段	一括して申請事務等を行うことにより
想定する成果	緊急地域雇用創出特別基金事業に関する事務の簡素化を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
従事労働者数	-	73人	149人
新規就業者数	-	58人	124人
緊急地域雇用創出特別基金事業	地場（繊維）産品アンテナショップ事業、三河縞ルネッサンス事業、NPOセンター設置等に関する調査研究委託事業などの7事業		

成果指標

成果指標名	新規就業者率	人件費率
成果指標の説明	新規就業者数/従事労働者数	人件費/総事業費

事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	83.2%
	実績	-	79.5%	-
成果指標	計画	-	-	83.8%
	実績	-	81.4%	-
事業費	事業費	-	30	30
	人件費	-	1,653	1,684
	(人数)	-	0.2	0.2
	合計	-	1,683	1,714
財源内訳	国	-		
	県	-		
	市債	-		
	その他	-		
	一般財源	-	1,683	1,714

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	現在の厳しい雇用情勢なか、臨時的であれ就業の機会が創出され、初期の目的は達成されている。
経済効率性	3	3	100%補助金で運営しておりリスクゼロであるが、各事業とも目標にほぼ見合った成果をあげた。
事務効率性	2	2	ほとんどが委託事業であり、突発的なことや細かい事務などは各担当課で対応している。
必要性	3	3	各事業とも初期の目的を達成するなど成果を上げているため、すでに完了した事業を除き、今後も必要な事業である。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	
総合評価	A	A	短期間事業のなか、各事業ともそれぞれ成果を上げているが、補助期間が終了してからの事業の継続について検討する必要がある。

これまでに実施した改善点

--

今後改善すべき点

--

平成16年度予算に反映する項目

平成15年度は補助金が確定しているが、平成16年度は現在のところ未定である。
--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	地場産品アンテナショップ事業
根拠法令等	なし		Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまつづくり	商業
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の主力地場産業である繊維産業に対して
手段	空き店舗を活用したアンテナショップの開設、運営事業に補助金を交付することにより
想定する成果	地場（繊維）産業の活性化を図るとともに中心市街地の空き店舗対策を推進する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
年間新聞報道回数	-	34回	40回
商品総売上金額	-	(10ヶ月分) 4,760,428円	5,100,000円
営業日数	-	248日	300日
補助金額	-	11,791,752円	13,064,000円

成果指標

成果指標名	年間新聞報道回数	1日あたりの商品売上金額
成果指標の説明	年間新聞報道回数	商品総売上金額/営業日数

事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	40回
	実績	-	34回	-
成果指標	計画	-	-	17,000円
	実績	-	19,195円	-
事業費	事業費	-	11,792	13,064
	人件費	-	4,132	4,211
	(人数)	-	0.5	0.5
	合計	-	15,924	17,275
財源内訳	国	-	-	-
	県	-	11,792	13,064
	市債	-	-	-
	その他	-	-	-
	一般財源	-	4,132	4,211

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	アンテナショップの最大の目的である繊維産地のPRができ、初期の狙いが達成されている。
経済効率性	3	3	100%補助金で運営しておりリスクゼロであるが、新聞等マスコミに何度も報道されるなど目標以上の成果を上げている。
事務効率性	2	1	管理運営等全てを民間が運営しているが、突発的なことや細かい事務は担当課で対応している。
必要性	3	3	蒲郡市の地場産業である繊維産業の活性化を図るため、今後必要である。
小計	11 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民参加として、手織り教室、繊維作品コンテスト等各種のイベントを企画し実施している。
合計	13 / 15 満点中	11 / 15 満点中	
総合評価	A	A	繊維産業のPR事業としてマスコミ関係に何度も報道されるなど、低迷が続く繊維産業の活性化に貢献している。また、空き店舗を活用し、中心市街地の活性化が図られている。

これまでに実施した改善点

--

今後改善すべき点

PR事業としては、それなりの事業効果を発揮しているが、現在売上が減少しているため、魅力ある商品、個性的な商品を開発するなどし、売上増を図る必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

平成15年度は補助金が確定しているが、平成16年度は現在のところ未定である。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	三河縞復元関連事業	
根拠法令等	なし		Eなし	

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまつづくり	商業
------------------	----

事務事業の内容

対象	蒲郡市の主力地場産業である繊維産業に対して
手段	「三河木綿・三河縞」の復元作業に補助金を交付することによって
想定する成果	繊維産業の地域ブランドイメージの創出及び活性化を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
年間新聞報道回数	-	40回	45回
延展示会入場者	-	1,105人	1,350人
展示会開催日数	-	9日	9日
補助金額	-	13,893,285円	17,396,000円

成果指標

成果指標名	年間新聞報道回数	総入場者
成果指標の説明	年間新聞報道回数	展示会入場者/展示会開催日数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	45回
	実績	-	40回	-
成果指標	計画	-	-	150人
	実績	-	123人	-
事業費	事業費	-	13,893	17,396
	人件費	-	2,479	2,527
	(人数)	-	0.3	0.3
	合計	-	16,372	19,923
財源内訳	国	-	-	-
	県	-	13,893	17,396
	市債	-	-	-
	その他	-	-	-
	一般財源	-	2,479	2,527

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	「三河木綿・三河縞」が各方面から注目されるようになり、当初の目的は達成されている。
経済効率性	3	3	100%補助金で運営しておりリスクゼロであるが、新聞等マスコミに何度も報道されるなど目標以上の成果を上げている。
事務効率性	2	2	管理運営等を民間が運営しているが、突発的なことや細かい事務などは担当課で対応している。
必要性	3	3	手織場での復元作業は、各方面から注目されており、マスコミ等も多く取り上げるなど、今後も特にPR面で必要である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	手織場の見学会や手織場展を開催するなど、市民も気軽に参加できる。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	
総合評価	A	A	手織場での復元作業という発想、企画により、マスコミ等に多く報道され、蒲郡市の地場産業である繊維産業が全国にアピールされるなど繊維産業界に貢献している。

これまでに実施した改善点

--

今後改善すべき点

平成16年度については、補助金がつくかどうか未定であるため、どのように展開をしていくかを検討する必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

平成15年度は補助金が確定しているが、平成16年度は現在のところ未定である。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	産業環境部	商工観光課	内線等	1205
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	ミカワテキスタイルネットワーク事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	工業
------------------	----

事務事業の内容

対象	市内に事業所を有する繊維関連業者に対して
手段	ミカワテキスタイルネットワーク(MTN)協議会に対して補助をすることによって
想定する成果	新しいモノづくり、販売方法の確立など産地の活性化を図り、提案型産地づくりを図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
協議会整備事業補助金	3,000,000	2,000,000	2,000,000
総事業費	3,963,485	4,064,955	4,500,000
事業内容	情報化推進、商品企画・開発、需要開拓、共同販売、共同購入事業の研究、人材育成の各事業		

成果指標

成果指標名	補助率	MTN協議会参加事業所数
成果指標の説明	補助金額 / 総事業費 × 100	MTN協議会参加事業所数

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	44.4%
	実績	75.7%	49.2%	-
成果指標	計画	-	-	96社
	実績	96社	95社	-
事業費	事業費	3,000	2,000	2,000
	人件費	2,507	2,479	2,527
	(人数)	0.3人	0.3人	0.3人
	合計	5,507	4,479	4,527
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,507	4,479	4,527

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	ホームページを作成し情報発信した。
経済効率性	3	2	
事務効率性	2	2	
必要性	3	2	業界の流通・生産システム見直しのため必要。
小計	10 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

時代の流れに乗り遅れた業界の流通・生産システムを見直し、新たなシステム構築のために、平成13年7月30日にスタートした。

今後改善すべき点

--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載